

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月25日

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	十和田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	330	A	330	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道区域内普及率を87.5%(H28)から91.5%(H32)に増加させる。 下水道区域内普及率 処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	87%	89%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第4幹線 A-1	A=4ha、200、L=1.3km	十和田市						117		-	
	A07-002	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第6幹線 A-2	A=0.4ha、200、L=0.09km	十和田市						12		-	
	A07-003	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第6幹線 A-2	A=1.6ha、200、L=0.51km	十和田市						51		-	
	A07-004	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	東部第5幹線 A-3	A=1.0ha、200、L=0.15km	十和田市						15		-	
	A07-005	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	東部第5幹線 A-3	A=1.0ha、200、L=0.15km	十和田市						15		-	
	A07-006	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	上平地区枝線 A-4	A=2ha、200、L=0.4km	十和田市						45		-	

A 基幹事業

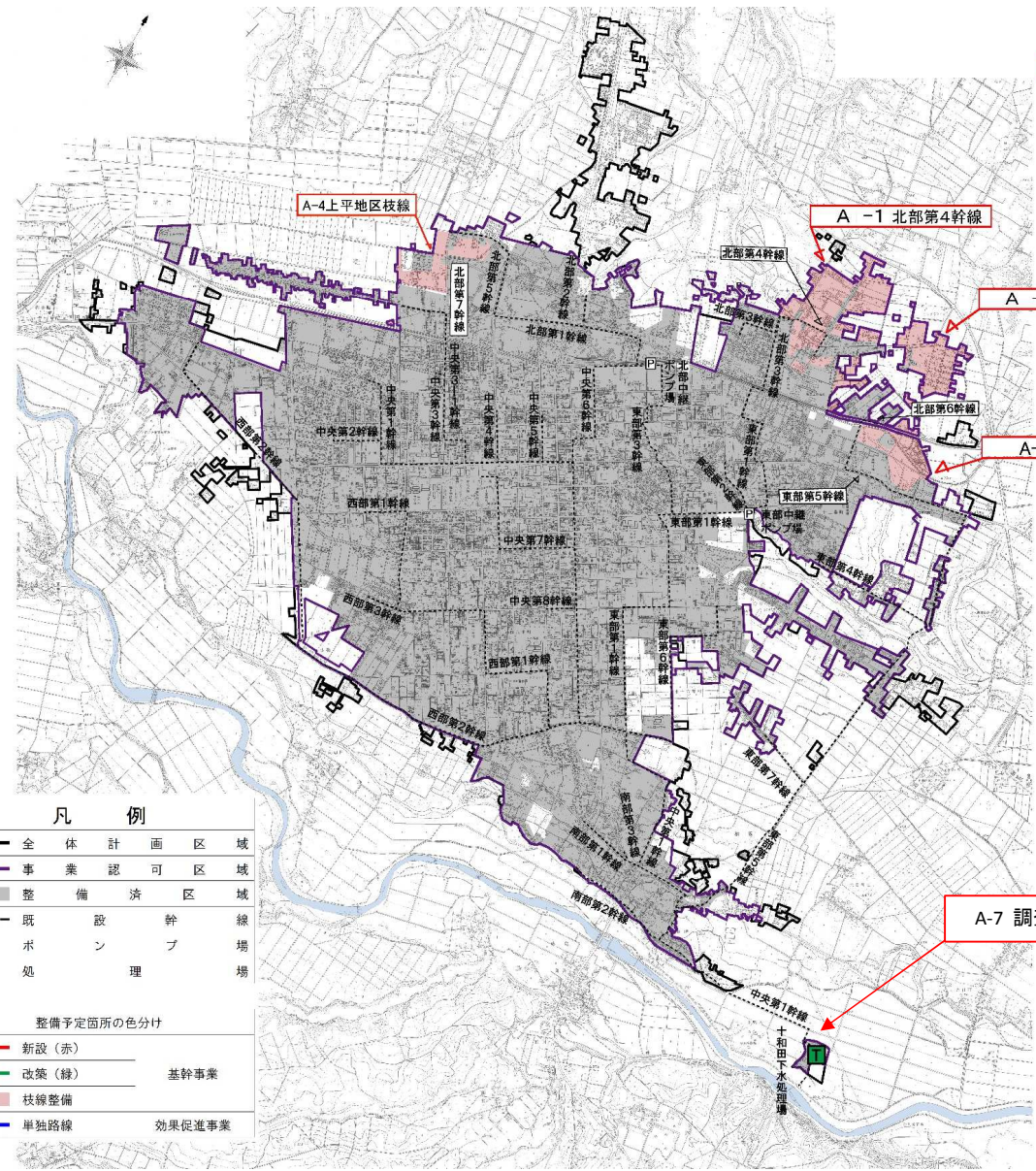
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠（ 汚水）	-	調査・設計等 A-5	管渠 L=1.6km等	十和田市						58		-	
		種別2：全種																		
	A07-008	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	-	-	調査・設計等 A-7	設備詳細設計	十和田市						17		-	
		種別2：全種、MICS																		
											小計						330			
											合計						330			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	38	13	5		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	38	13	5		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	38	8	5		
翌年度繰越額 (f)	0	5	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		十和田地区環境整備事務組合で行うし尿処理受入施設の 詳細設計の際に、躯体の 構造、機械施設等の仕様が 定まらず再検討が必要とな ったため、調整に不測の日 数を要した。			

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現(重点計画)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	十和田市



凡 例	
	全 体 計 画 区 域
	事 業 認 可 区 域
	整 備 済 区 域
	既 設 幹 線
	ホ ン プ 場
	処 理 場
整備予定箇所の色分け	
	新設(赤)
	改築(緑) 基幹事業
	枝線整備
	単独路線 効果促進事業

A - 5 調査・設計等

A - 1 北部第4幹線

A - 2 北部第6幹線

A-3 東部第5幹線

A-7 調査・設計等

事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市における循環のみちの実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画による事業認可計画面積 1,703haのうち平成29年度末1,568haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、当市の下水道の普及状況を的確にとらえており、未普及解消に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は下水道施設(管渠)の整備・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 基幹事業の管渠と市単独費の端部枝線(単独管)整備を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 (管きょ)地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設設備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。

○